

科目名		母性看護学	単位(時間)	5単位165時間
担当講師名		専任教員 他	DP	1・2・3・4
科目設定理由		母性看護は、女性のリプロダクティブヘルスの維持・増進を目的として、母子とその家族に対する健康生活への支援方法を学びます。 母性のライフサイクルと健康では、人間の性と生殖という視点を通して、母性看護の基盤となる概念を学ぶと共に、リプロダクティブヘルスに関わる社会的要因と健全なライフサイクルを送るための支援を学びます。そして、それらの学びを統合し、女性の生涯を通した健康生活を支援する看護を考えていきましょう。また、母性看護は生命の誕生に関わる領域でもあり、母性看護における倫理的視点について考えを深めていきましょう。 母性看護援助論I・IIでは、妊娠・分娩・産褥・新生児期にある母子の正常な経過を促進する看護および正常からの逸脱時に必要な看護を学びます。次世代を担う子どもの健全・育成に向けた、母性とその家族への支援方法を深めていきましょう。		
科目構成	科目名	母性のライフサイクルと健康	母性看護援助論 I	母性看護援助論 II
	単位時間	1単位 15時間	1単位 30時間	1単位 30時間
	履修時期	31期生 1年次後期	30期生 2年次前期	30期生 2年次後期
	学習範囲	1 母性看護の意義と役割、変遷と現状 2 女性のライフサイクルと性の発達 3 ライフステージにおける女性の健康 4 リプロダクティブヘルスケア女性の健康と権利	1 妊娠期の正常な経過 2 妊娠期の看護 3 分娩期の正常な経過 4 分娩期の看護 5 産褥期の正常な経過 6 産褥期の看護 7 新生児の正常な経過 8 新生児の看護	1 妊娠・分娩・産褥・新生児期の異常 2 異常経過のみられる妊婦の看護 3 異常経過のみられる産婦・褥婦・新生児の看護 4 周産期の看護に必要な援助技術 5 事例による母性看護の展開技術
	科目名	母性看護学実習		
	単位時間	2単位 90時間		
	実習のねらい	母性看護学実習は、周産期にある対象と家族への看護実践を通して、母性がより良い経過を遂げながら、子どもを産み育てるための支援について考えていきます。 実習では、妊婦や褥婦、新生児を受け持ち、対象に寄り添いながら、経過の中で起こる心身の変化を捉えていきましょう。また、妊娠の過程や出産を成し遂げ、徐々に母となっていく対象と家族の姿から、児への思いや親役割への変化、家族関係を捉えていきましょう。一方、新生児期は、子宮外生活に適応できるための適切なケアが必要な時期にあります。誕生した尊い生命を守り、迎え入れる家族と共に、役割移行を捉え、ウェルネスの視点で健やかな成長を育む支援方法を学んでいきましょう。そして、臨床での看護に同行することで、対象の強みを引き出し、より良い経過を促進するための看護を学んでいきましょう。母と子、家族の退院後の姿を思い描きながら必要な看護の実践や母性看護の連携・継続についても考えられると良いですね。 新しい命を迎える家族との関わりや愛着形成の場面を通して、切れ目ない家族形成への支援、生命を慈しむ感性や自己の母性(父性)観を発展的に考えながら実習していきましょう。		